

令和2年度専決補正予算(4月)の概要

新型コロナウイルス感染症対策について、感染拡大防止対策の強化及び学校の臨時休校に伴う保護者の負担増への支援や特別障がい者の生活支援並びに新型コロナウイルス感染拡大により甚大な影響を受けている事業者への支援のために必要額を計上した。

補正予算額 475,000千円 (専決日:令和2年4月20日)

1. 補正予算の内訳

(単位:千円)

事業名	補正額	内 訳
新型コロナウイルス対策事業	475,000	子育て世帯及び障がい者世帯等臨時特別給付金 産業振興事業 マスク等購入費 他
合 計	475,000	

2. 補正予算の財源

(単位:千円)

区 分	補正額	説 明
収益事業収入	100,000	越前三国競艇企業団(新型コロナウイルス感染症対策支援特別配分金)
繰 入 金	375,000	財政調整基金
合 計	475,000	

3. 予算の規模

(単位:千円)

会 計 別	補 正 前 ①	補 正 額 ②	補 正 後 ③	伸び率(%) ②/①
一 般 会 計	35,121,000	475,000	35,596,000	1.4
特 別 会 計	16,907,490	—	16,907,490	—
企 業 会 計	9,054,014	—	9,054,014	—
合 計	61,082,504	475,000	61,557,504	0.8

※今後、国の補正予算等を踏まえ、適宜、新型コロナウイルス対策費を追加計上予定。

【 新型コロナウイルス対策費事業内容 】

1 新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済的支援 427,000千円 (別紙1参照)

・子育て世帯支援

【市単独事業】 393,000千円(事務費含む)

・子育て世帯臨時特別給付金 (390,000千円)

令和2年5月6日まで出生の子どもから高校3年生(R2年4月1日時点)までの子どもを持つ子育て世帯に子ども一人当たり3万円を給付

対象者数: 13,000人

・特別障がい者支援

【市単独事業】 34,000千円(事務費含む)

・障がい者世帯等臨時特別給付金 (33,000千円)

特別障害者に対し一人当たり 2万円を給付する

対象者数: 1,650人

(身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A1・A2、精神障害者保健福祉手帳1級)

2 産業振興事業

5,000千円

コロナに負けない事業所等応援事業補助金(別紙2参照)

コロナに負けない事業所等応援制度を新規に設け、新型コロナウイルス感染拡大による様々な影響を払拭しようとする事業者等の前向きな取り組みについて幅広い支援を行う。

1事業者10万円×50事業者分

(補助事業例)

飲食店や小売店が連携して、デリバリーサービスなど販路の開拓

3 学校臨時休校中の家庭学習支援

既決予算

小中学校の臨時休校中、児童生徒の家庭での学びを支援するため、学習動画を作成し配信する。(別紙3参照)

4 マスク・体温計等購入費

43,000千円

新型コロナウイルス感染防止対策衛生品等の購入

・マスク

備蓄用等マスク

67,000枚

妊婦用マスク(市配布分)

4,500枚

学校(授業再開後の児童生徒・教職員等用布マスク)

30,000枚

・体温計(非接触型)

100個

・その他(消毒液等)

5 今後の補正予算等

・生活支援臨時給付金

・子育て世帯臨時特別給付金

・新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金

・その他、国の新型コロナウイルス感染症対策補正予算関連

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う経済的支援

	子育て世帯への臨時特別給付金	特別障害者への臨時特別給付金
支給対象者	0～高校3年生までのR2.4.1時点で 越前市に住民登録のある子ども 13,000人 (R2.4.2～R2.5.6出生を含む。)	特別障害者（障害者のうち、次に掲げる特に重 度の障害のある方） (1) 身体障害者手帳1級・2級（約1,380人） (2) 療育手帳A1・A2（約240人） (3) 精神障害者保健福祉手帳1級（約30人）
支給額 (単価)	子ども1人につき3万円（1回限り）	1人につき2万円（1回限り）
見込額	3億9,000万円（市単独）	3,300万円（市単独） ※特別障害者1,650人×2万円
手続	(1) 口座情報がある子ども（児童手当支給者） ⇒ 申請不要 (2) 口座情報がない子ども（高校2・3年生等） ⇒ 申請要	(1) 口座情報がある方 ⇒ 申請不要（該当者に一律で口座振込） (2) 口座情報がない方 ⇒ 申請要
支給月	5月 高校1年生まで 6月 高校2・3年生 7月 その他	令和2年5月予定（口座情報がない方は同年7 月予定）

コロナに負けない事業所等応援事業について

1 目的

新型コロナウイルスの感染拡大で地域経済や市民生活に大きな影響が出る中、市内の中小・小規模事業者等が行う様々な影響を払拭しようとする前向きな取組みを迅速に、幅広く、積極的に支援する。

2 内容

対象事業	補助対象事業者	補助対象経費	補助率	上限
新型コロナウイルスの感染拡大により受けた影響を払拭しようとする前向きな取組み	市内の中小・小規模事業者及び団体等	委託費・外注費 商品開発費 広告宣伝費 印刷製本費 器具備品費 その他市長が認めたもの	10/10	1者あたり 10万円 100万円限度 (注1)

(注1) 複数事業者申請の場合は1者につき10万円を加算、上限100万円

3 対象事業の事例

- ・飲食店や小売店が連携して、テイクアウトやデリバリーサービスなど販路の開拓
- ・その他、幅広く支援

4 交付手続き

交付申請受付 令和2年12月28日まで ※事前着手可
 補助金の支払い 事業開始時：概算払（交付決定額の2/3を上限）
 事業終了後：精算払

5 予算

4月補正予算（専決） 5,000千円（対象事業者数：50者程度）

6 施行

4月専決日施行
 ただし、令和2年4月1日以降の事業から適用

学校臨時休校中の家庭学習支援 《オンライン学習動画配信》

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う小中学校等の臨時休校中、児童生徒の家庭での学びを支援するため、学習動画を作成し配信する。

(1) 配信期間

4月21日（火）から5月6日（水）まで

(2) 学習動画の内容

- ・令和2年3月に実施を予定していた単元のうち、小学1年生から中学2年生の分を配信
- ・小学生4教科 中学生5教科（下表「市の動画」のとおり）
- ・学習動画は、本市の教員が作成し、単元の導入、中心部分を精選し組み立て。
- ・児童生徒の学ぶ意欲の持続を目的とし、もっと知りたい、自分で考えよう、と思える動画内容で構成
- ・今回配信する学習動画は、学校再開後、授業の中でも取り上げる。

(3) 学習動画視聴の流れ

- ① 児童生徒が自宅のパソコンやタブレット端末などで、学習動画サイトにIDとパスワードを入力して視聴する。
- ② 自宅にインターネット環境がない児童生徒には、授業で使用している市のタブレット端末に学習動画を保存し貸し出す。
- ③ 県教育委員会が作成した学習動画「ふくいわくわく授業」もあわせて紹介するとともに、貸出端末にも取り込む。

	市の動画	県の動画
対象学年	現在小学2年～3年生： →小学1年～2年時の国語、算数 現在小学4年～6年生： →小学3年～5年時の国語、算数、理科、社会 現在中学1年生： →小学6年生時の国語、算数、理科、社会 現在中学2年～3年生： →中学1年～2年生時の国語、数学、理科、社会、英語	小学1年～6年生： 国語、算数、理科、外国語 中学1年～3年生： 国語、数学、理科、英語 （4月17日時点）
内容	3月の学習内容	3月、4月の学習内容
動画作成者	小中学校教員	県教育委員会指導主事
動画サイト	武生東小学校HPからYouTubeにアクセス ※25小中学校全て武生東小学校HPを経由	YouTube
ネット環境がない児童生徒への対応	タブレット端末に動画を保存し貸出	ケーブルテレビで放送 DVD-ROMに保存して貸出